

【授業概要】

和裁本科①-1

	内容 (目標)	時期	時間	必修・選 択科目	実務経験 がある教 員による 授業	成績評価の方法	
1年	和裁Ⅰ基礎実習A	運針、検反、地直し、肌襦袢等 (着物を仕立てる前工程の理解と運針の重要性を実習と通して学習。)	年間	72	必修		学期末までに日々の課題の状況、平素の授業態度等を合わせ、50点以上を合格とする。和裁Ⅰを総合的にひとつの評価をする。
	和裁Ⅰ基礎実習B	男・女物・子供物浴衣等、基礎実習Aの復習 (縫い方を理解し、1人で完成することができる)	5-8月	558	必修		
	和裁Ⅰ基礎実習C	男・女物・子供物の長襦袢、裕長襦袢等、基礎実習Bの復習 (縫い方を理解し、1人で完成することができる)	9-12月	238	必修		
	和裁Ⅰ基礎実習D	男・女物ウール着物、単衣着物、袷着物素縫い等、基礎実習Cの復習 (縫い方を理解し、1人で完成することができる)	1-3月	750	必修		
	着付け	☆自装・浴衣(帯形 文庫 貝の口)・織り・染の着物(太鼓結び・二重太鼓) (自分1人で制限時間内に美しく着る)	年間	52	必修		学期末までに日々の課題の状況、平素の授業態度等を合わせ、50点以上を合格とする。和裁Ⅱを総合的にひとつの評価をする。
	被服材料学 被服整理学	☆和裁に用いられる繊維材料 その保管と手入れ (主に上記を理解する)	年間	2	必修		履修の有無を判定
	染織工芸	☆日本の伝統的な染織とその方法 (主に上記を理解する)	年間	10	必修		履修の有無を判定
	和裁補足講義	☆1年次で扱うゆかた・長襦袢の仕立てについて (実習では確認できないことや注意点を講義を受けることで理解する)	年間	8	必修		履修の有無を判定
	説話	☆心の成長の助け (自分や他人・物事について考え、自己成長に繋がるきっかけを見つける)	年間	4	必修		履修の有無を判定
	目標資格	・国家技能検定和裁技能士3級・和裁初級認定証(全国専修学校各種学校総連合会)				1年次 0h	
学習要項	和裁の基礎知識、技術の習得に励みます。特に基本となる運針を磨くことに全力を注ぎます。基本的実習科目を理論と並行して学び、自分一人で縫い上げられるようになるまで徹底的に指導します。専門科目としては、被服材料学・被服整理学を学んでいきます。						
	内容 (目標)	時期	時間	必修・選 択科目	実務経験 がある教 員による 授業	成績評価の方法	
2年	和裁Ⅱ基礎実習A	運針、検反、地直し (着物を仕立てる前工程の理解と運針の重要性を実習と通して学習。)	年間	150	必修		学期末までに日々の課題の状況、平素の授業態度等を合わせ、50点以上を合格とする。和裁Ⅱを総合的にひとつの評価をする。裁断も同様、総合的にひとつの評価をする。
	和裁Ⅱ基礎実習B	和裁Ⅰ基礎実習B・Cの技術向上、和裁Ⅱ基礎実習Aの復習 (縫い方を理解し、1人で制限時間内に完成することができる)	4-8月	100	必修		
	和裁Ⅱ基礎実習C	和裁Ⅰ基礎実習Dの技術向上、和裁Ⅱ基礎実習Bの復習 (縫い方を理解し、1人で制限時間内に完成することができる)	年間	170	必修		
	和裁Ⅱ基礎実習D	袷着物のまとめ、和裁Ⅱ基礎実習Cの復習 (縫い方を理解し、1人で完成することができる)	年間	1080	必修	○	
	裁断基礎実習A	浴衣、長襦袢、単衣着物の裁断 (着物の生地を理解し、1人で裁断することができる)	年間	90	必修		
	裁断基礎実習B	袷着物の裁断 (着物の生地を理解し、1人で裁断することができる)	年間	90	必修		
	和裁補足講義	☆着物等仕立てについて (実習では確認できないことや注意点を講義を受けることで理解する)	年間	10	必修		履修の有無を判定
	説話	☆心の成長の助け (自分や他人・物事について考え、自己成長に繋がるきっかけを見つける)	年間	4	必修		履修の有無を判定
	目標資格	・国家技能検定和裁技能士2級・和裁中級認定証(全国専修学校各種学校総連合会)				2年次 1080h	
	学習要項	1年次に学んだ基礎を更に充実させるため、専門的科目の学習に移り、自分一人で正確に縫い上げられるようになるまで何度も反復練習を繰り返します。和服についての専門知識を深めるため理論も並行して学んでいきます。最終的に国家検定2級取得を目標とし、日々指導していきます。					